

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

グリーンテクノロジーを育み、地球と共に歩む。創造的な技術力と提案力でバイオものづくり分野を牽引し、常識を変革する。

売上高
10億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 3つの収益化手法

ライセンス・自社販売・テクノロジーパッケージで、市場規模の大きい重厚型・長大型案件に集中。

3. 国内外企業との共同開発

バイオ燃料・バイオ樹脂・海外企業との化学品開発・食品残渣由来製品を3年間で展開。

2. プラットフォーム構築

バイオファウンドリ・木質バイオマスエタノール・バイオ燃料・バイオ樹脂・セルロース由来化学品など主要パイプラインで社会実装推進。

4. 商用化製品の収益拡大

5種類アミノ酸・米由来タンパク質ライセンス・化粧品用エタノール販売で、ロイヤリティ収益拡大を図る。

③ 対処すべき課題

① 商用化ビジネスモデル確立

- ・開発から商用化まで最適形態を選択し実績作り
- ・3年間でバイオ燃料・バイオ樹脂・食品残渣由来品の商用化計画
- ・既存5種類アミノ酸と米由来タンパク質のロイヤリティ拡大

② 成長を支える組織構築

- ・内部統制・会計システム・リスク管理体制の整備
- ・研究者不足への対応と企画・管理部門の増員
- ・研究施設拡張と発酵槽等設備への追加投資

③ 企業認知度と信用力向上

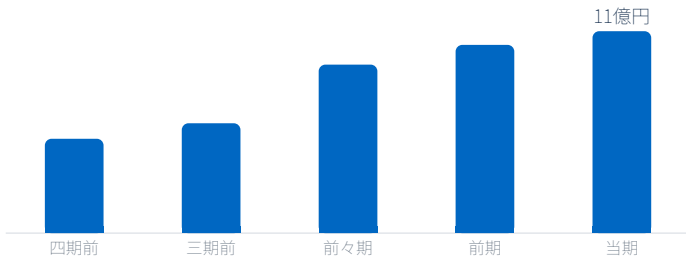
- ・商用化実績の着実な積み上げ
- ・上場企業としての知名度向上と信頼獲得

面接で使えるポイント

- ・2024年6月に日本政府が策定したバイオエコノミー戦略で、バイオものづくり・バイオ由来製品領域が53.3兆円の成長市場と...
- ・米国の分析でバイオものづくりが今後10年で製造業生産の3分の1を置き換え...
- ・菌体開発から商用化まで全体を通した知見と経験を持つ強みで、バイオファウンドリ・木質バイオマス・食品残渣など多様なパイプラ...

証券コード 9212

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに

Green Earth Institute株式会社は

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

63点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収

684万円

サービス業内 141位/524社

平均年齢

47.7歳

サービス業内 35位/527社

平均勤続

3.8年

サービス業内 420位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

